

毎月の《読む実学》と《ニュース&データコンパクト》をあなたへ

メビウス Member's Press

- 講義ダイジェスト 女性社員を育てる 仕組みづくり
- 今月のニュース&データコンパクト
- 経営者のためのインフォメーション
- 会員お仕事紹介 デイサービス 笑々(くすくす) 平野 数美さん

メビウス主宰
浅沼 公子

主筆からのメッセージ

企業永続の道が続く 社訓・社是

社是 「徳を残そう」

私は仕事柄東京への出張が多い。手荷物に書類や本が多く、車中での電話や、執筆のため常にタクシーを使う。常用しているのが「桜にN」のマーク、日本交通である。

数年前のある日、そのタクシーに乗った。車内の無線は無く静か、話し掛けるまで余計な話しをしない。車はピカピカ、車内も実にきれいである。クッションも心地良く、走行共に丁寧で静謐(せいひつ)な環境が保たれている。

「とても良い制服ですね。」と声を掛けると、「ありがとうございます。先のオリンピック日本選手団の制服デザイナーのデザインです。」と答えた運転手の濃紺のネクタイが白いワイシャツに映えていた。ドアサービス、手荷物をおろし、帽子を取って、「ありがとうございました。またお待ちしております。」と爽やかだった。

「日本交通」に興味を持った私はホームページを見て驚いた。創業から86年、社是の冒頭に「徳を残そう」とあった。誇りを持って動き、仕事を通して、後世に「徳を残すこと」を経営理念とし、社訓に「エクセレント・カンパニー宣言」として、品格の高い超優良企業を目指す、正しいやり方で長期的に利益の絶対額を高める、日交のプライドを胸に横綱相撲をとる。とあった。

自らの立ち位置を、
明確にメッセージした経営理念

<京都M Kタクシーの経営理念>

お客様第一主義
タクシードライバーの社会的地位向上

<我等の信念>

我等は労働が最高にして神聖であることを信ずる、会社とともにある、社会に奉仕、健全な利益、学習に心がけ人格の完成、これらにつとめなければならない。

とあった。自らの職業の地位向上を冒頭にメッセージし、それは信念の実行によって成り立つという。

これほどに自分の職業の立ち位置を何の照らも無く、明確にメッセージしたコトバを他に知らない。社風の風には教えなびかせる意味があるという。その理念は神経系統のように指先まで浸透し、体現をしていく。悪い社員はスポイルされ、理念を持つ社員の集団となり、会社は永続の道を歩む、恐るべしは社風である。

今時(こんじ)、団塊世代のオーナー社長は、後継者に事業を託す時となっている。先代の残した社是・社訓は今日まで時代を超えて、その言葉に守られ、また成長してきた経営の拠り所である。それをさらに清新な磨きをかけ、事業と共に引き継いでいかなければならない。ゴーイングコンサーン、永続の道に向かつて。

いくつかの会社訪問の折、経営理念のカードが作られていない場合には、経営理念が書かれたカードを社員分作成して差し上げている。

毎朝の朝礼で全社員がカードを手に、唱和し、社風の風が一層に吹き渡るのを願って・・・

※日本交通 社員数 7368名 車両台数 5100台
京都MKタクシー 社員数 2,268名 車両台数 892台

「女性を活かせば会社が変わる! 会社が伸びる!」 女性社員を育てる 仕組みづくり

去る11月12日、足利地場産センターにて、i-project代表 大西素子氏をお迎えし、メビウス160回『「女性を活かせば会社が変わる! 会社が伸びる!」女性社員を育てる 仕組みづくり』講義を行いました。

大西先生は、人材育成・組織開発を専門領域とする経営コンサルティング会社の営業として、研修・診断・そしてコンサルティングに携わり、全国38拠点中第1位の営業成績を樹立し、当時唯一の女性営業所長として活躍されました。結婚、出産、育児を経て独立された後は、コンサルティングや就労支援を中心に行政や企業の女性活躍推進をサポートされています。それでは講義の一部をご紹介します。



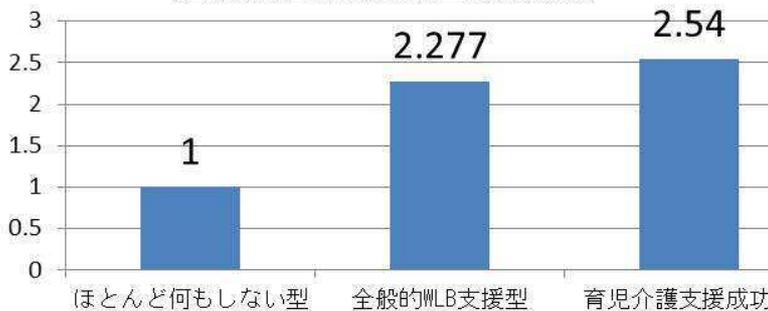
i-project代表
株式会社アイプロジェクト取締役
大西 素子 氏

今まさに、女性の時代! ~女性が求められる理由~

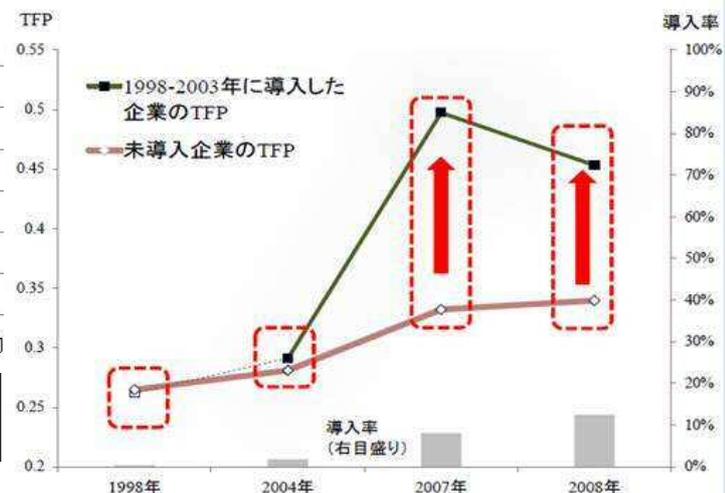
■人材活用の観点から、ワークライフバランス (WLB) に取り組むことで、生産性が上昇する傾向が見られる。

- ・育児介護支援や柔軟な職場環境推進に取り組む企業は、何もしない企業に比べ、生産性が2倍以上高い。

WLBに対する取組と生産性の関連
(「何もしない型」の生産性を1とした場合)



・人材活用の観点からの積極的なWLB推進の取組は、企業の全要素生産性(TFP)向上に寄与する傾向。



女性活躍の施策は女性だけの話?

女性活躍推進の真の必要性はこれから

2007年。団塊世代の一斉退職がありました。すでに少子化と高齢化により労働力人口の変化が始まっています。このままの状態が進むと2060年には3,795万人と現在より42%減少。2022年には、団塊世代が介護年齢に突入し、ますます人手不足になります。女性活躍の場を整えることは、男性も今後関わるであろう介護問題に対応する仕組みをつくることにもなるのです。

活躍にはステップが必要 「女性活躍 育成プロジェクト」

女性活躍をめぐる 企業事情

- ・ 昨年あたりから、社員募集をしても人が集まらない。
- ・ 男女関わらず、優秀な人に働き続けてほしいと思っている。
- ・ 産休、育休の希望者が増えてきたが、対応が分からない。
- ・ 介護が必要な家族をもつ社員が増えてきた。
- ・ 勤務時間や条件の希望が多様化してきている。
- ・ 2020年のオリンピックまではかなりの人手が必要、その後は・・・。



その対応は？

以前は、人口ボーナス期と呼ばれたように働く人が多い時代だった。ところがこれからは、人口オーナス期※。働く人より支える人が多くなる。そこには、**ダイバーシティ、多様な価値観に基づく多様な働き方が必要**。一足飛びに活躍の場ができるわけではない。10年、15年後を見据えた**ステップが必要**。それは**役員が育てる**。

※人口オーナス期：人口構成の変化が経済にとってマイナスに作用する状態。

ある建設会社(社員数60名)の取り組み

課題：建設業界という男性社会の中で、**女性が家庭役割を担いながらも、会社で働き続けられる組織をつくること**

取組み施策：建設現場監督を経験していた女性社長が

法定以上の産休育休、介護休暇を設定。育児、介護に関する休みに柔軟に対応。「休み」のローテーションをつくる。

効果：お互いにフォローし合える**風土**が芽生えた。**離職率の低下**に繋がった。

女性活躍のメリット

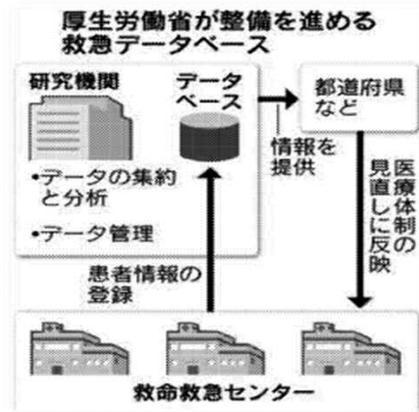
- ・ 優秀な人材の確保ができる
- ・ 定着率が高まり、離職率の低下が図れる
- ・ 働く女性のモチベーション向上
- ・ 多様な視点が入り入れられる
- ・ 消費者ニーズを捉えられる
- ・ 職場の雰囲気良くなる など 企業イメージの向上にもつながります。



当日は、「女性が生き生き働く職場とはどんな職場？」のテーマにより、活発なグループディスカッションが交わされました。日々感じていることやお互いの取組みについての意見交換をすることが、とても参考になったようです。

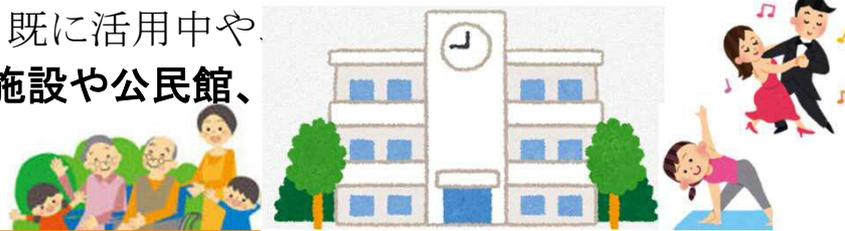
急患搬送 データで速く 消防・医療機関結ぶ 2014.11.14 日本経済新聞

救急車で搬送された患者が受け入れを拒否される「たらい回し」を防ごうと、厚生労働省は来年度にも、過去に運ばれた患者の情報を集めた全国規模のデータベースを整備する。全国に271か所ある救命救急センターは24時間体制で重症患者やけが人を受け入れているが、救急対応が不要な人が搬送され、救急治療が必要な患者の搬送先が見つからない事態につながっている。症状や診断結果などを消防と各地の救命救急センターの間で共有。都道府県も救急医の増員など地域の医療機関の体制を見直す。救急医療を本当に必要とする患者が、適切な診断や治療を受けられる体制づくりを早急に進め、救命率の向上といった適切な医療体制づくりにつなげる。



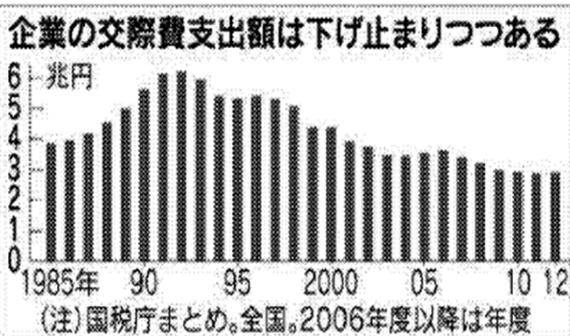
廃校2年で1080校 公立学校、少子化などで・・・ 2014.11.14 日本経済新聞

文部科学省は、全国の公立学校のうち2012年度に598、13年度に482の計1080校が廃校になったと発表した。少子化による児童・生徒の減少や、市町村合併に伴う統廃合などが主な原因という。03年度以降、毎年度の廃校数が400校を超える結果になった。今年5月1日の時点で校舎などが現存する5100校に関し、施設の転用状況を調べたところ1081校(21%)は老朽化や「地域からの要望がない」などの理由で活用方法が未定だった。130校は取り壊す予定とした。既に活用中や、用途を決めている場合には、スポーツ施設や公民館、老人福祉施設への転用が多く、企業の工場や事業所に行っている例もあった。



接客復調、にぎわう宴会 交際費の損金算入 2014.11.14 日本経済新聞

首都圏の高級料理店やホテルで企業の接待や宴会の需要が回復している。企業収益の回復や株価の上昇などがプラスに働いている。2013年政府が中小企業に対し交際費の損金算入の枠を従来の「9割600万円まで」から「全額、800万円まで」に拡大、さらに14年度は資本金1億円超の大企業も飲食費の50%まで損金算入できるようにした。それによって飲食に使うお金が増えているためだ。本格的な忘年会・新年会シーズンの予約はこれからで、交際費の損金算入の動きが広がれば、宴会だけでなくバー利用などへも波及していく可能性がある。ただ、景気の先行きは不透明で、回復が継続するかは予断を許さない。

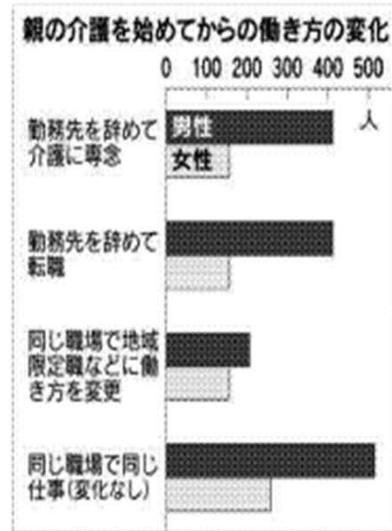


正社員で3人に1人

親の介護で男性転職

2014.11.23 日本経済新聞

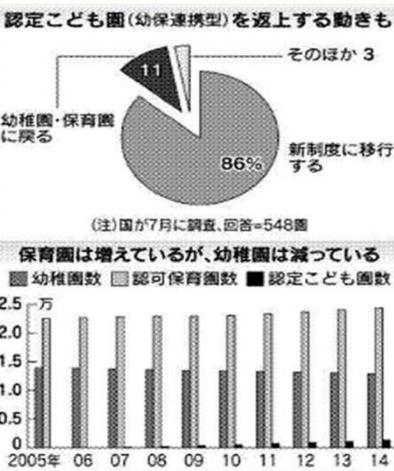
親の介護を理由に転職した人で、転職先でも正社員として働いているのは**男性で3人に1人**、女性は5人に1人とどまることが、明治安田生活福祉研究所などの調査でわかった。転職した場合、**平均年収は約半分に減少**した。家族の世話を優先するため、安定的な収入をえられても、転勤などの機会の多い**正社員についていない現状**が浮き彫りになった。正社員の場合、**転勤の辞令を受けたり、社員数が少ない企業だと休暇が取りにくかったり**するなど**介護と仕事の両立が難しい**とされる。このため、介護を理由に転職した男性の3割、女性の約6割は、**働く時間を調整しやすいパート・アルバイト**として働いていた。多くの企業にとって、**組織を支える中高年世代**にのしかかる**負担は経営問題**となりつつある。



待機児童「恩恵実感ない」

子育て新支援制度

2014.11.26 日本経済新聞



来年4月に始まる**子ども・子育て支援新制度**。目玉の一つが**幼保一体化**だ。幼稚園と保育園の垣根を取り払い、**既存施設と人員最大限活用**。保育の受け皿を増やしつつ、**教育機能も強化**する。そんな未来図を描くが、始動を間近に控え、**現場では逆の流れ**が起きている。新制度でも認定こども園は存続できるが、**助成の仕組みが変わり運営費の補助額が大幅に減る**。補助金を削られては**維持が難しく「現状を維持してほしい」という多くの保護者の声**を基に、**認定こども園を返上する施設**も多い。

◇来年の福袋は体験型◇

百貨店各社

2014.11.12 日本経済新聞

百貨店各社が**2015年1月の初売り**で販売する**福袋**が出そろった。家族や友人らと食事や旅など**非日常を楽しめる体験型**を多彩にそろえた。三越伊勢丹ホールディングスの、**有名料亭「玄治店 濱田屋」**で芸者の踊りなどを見ながら食事を楽しめる企画は、料金が75万6千円で3組を限定。**しなの鉄道「ろくもん」**の車両を1両貸し切って軽井沢から長野までの旅行を楽しめる企画(5万円、1組限定)も用意した。**「ありそうでない企画をそろえた」という**。高島屋は、**三陸鉄道の運転士を体験できる企画**(10万円、20人限定)が目玉。職業体験型は子供向けが一般的で、大人向けは珍しい。**店頭で販売する福袋も増やす傾向**にある。松屋は3万5千個を用意する。**消費税の再引き上げも意識し、まとめ買いできる商品もそろえた**。



賞与の社会保険料



年末が近づき、冬季賞与の支給時期となりつつあります。そこで、今回は社会保険料(健康保険・介護保険・厚生年金)の取扱いについて確認しておきましょう。

I 賞与計算に利用する標準賞与額

賞与にかかわる社会保険料は、毎月の社会保険料と同率の保険料がかかります。保険料は「**標準賞与額**」(実際に支払われた賞与額から1000円未満を切り捨てた額)により計算します。

この賞与額には下記の上限があります。

- ① 健康保険・介護保険： 賞与の**年度**(4/1～3/31)の累計額**540万円**
- ② 厚生年金保険： **支給1回**当たり**150万円**(同月2回以上の場合は合算)

II 退職者と賞与保険料

賞与を支給する月に退職し、被保険者資格を喪失する場合には、特に注意が必要です。その理由としては、**資格喪失月に支払われた賞与は保険料の対象外**となるためです。

社会保険料は、**被保険者の資格取得月は対象**となり、**資格喪失月は対象外**となります。被保険者資格は、退職日の**翌日**に喪失します。例えば、12月30日に退職(12月31日に資格喪失)する従業員に対し、賞与を12月10日に支給する場合には、社会保険料の対象とはなりません。

ただし、資格取得と同月に資格喪失(**同月喪失**)がある場合には、社会保険料の対象となります。賞与を支給する際には、支給する月に退職(資格喪失)する従業員がいないか確認しておきましょう。

III 育児休業者と賞与保険料

育児休業を取得している従業員に対して、育児休業前の勤務分に対する賞与が支給される場合にも、注意が必要です。

育児休業を取得している場合には、通常、**育児休業等取得者申出書**を届け出ています。この届出が行われている場合で、賞与が社会保険料の免除月に支給された場合には、賞与に対する社会保険料も免除されることとなります。

※賞与計算を行う際の社会保険料の取扱いについては、留意点がかかなり多いため、事前確認が必要です。

ご不明な点は、事務局にお尋ねください！

- ◆お問合せ先：NPO法人 女性のためのビジネススクール メビウス事務局◆
(栃木県足利市本城2-1901-8 アサヌマビジネスサポート内)
TEL:0284-41-1324 FAX:0284-41-1340

メビウスは、あなたの会社の 強力サポーターです 個別相談

経営には確かな

アドバイザーが必要です。

ビジネスのあらゆる課題に、

豊富な知識と経験で

あなたの身近な強い味方。

ご相談をお伺いするのは…

主宰：浅沼 公子 又は

顧問：関田 恭裕 です。

<相談日> **12月22日(月)** AM10時
~PM5時

<場 所> ㈱浅沼経営センター足利本社

<料 金> 無 料

締切り 12/19

<ご相談のお申込み>

お電話：0284-41-1324 Mail：office@bs-mebius.net

~マイ・デスク~ わたしの相談

女性のライフステージの変化…

マネープラン見直しのタイミングです。

生命保険のご相談…管理台帳を作りましょう

マネー・ライフ プランのご相談

ご相談をお伺いするのは…

主幹：三上 洋子 です。

<相談日> **12月17日(水)** AM10時
~PM5時

<場 所> ㈱浅沼経営センター足利本社

<料 金> 無 料

締切り 12/12

My SELECTION

~私のオススメ!~

話題の“ポタリング” ご存知ですか？



自転車でブラブラと街を散歩することを指す「ポタリング」という言葉をご存知でしょうか。「気ままにブラつく」といった意味を持つ“potter” という英単語がもとになっており、愛好者が増えています。徒歩よりも早く移動でき、広い範囲を探索できるのがポタリングの魅力。家の近所を走っても、いつもと違う路地に入ったり、駅の反対方向に足を延ばしたりすると、思わぬ発見に出会えます。

そんなポタリング、11月に「とちぎ3大ポタリング祭り」が日光市・さくら市・益子町で開催されました。各コースとも約20km程度(約2・3時間)を走り、途中約5か所のエイドステーションでその街自慢の食べ物や飲み物を満喫。特産品を味わい、そして風景を楽しみながら街の良さを再発見する事ができます。

斯く言う私は、11月24日開催のさくら市ポタリングに参加。田んぼの中を突っ切る農道、紅葉のトンネルを抜ける林道、せせらぎが聞こえる川沿いを風の音を聞きながら、22キロを完走。爽やかな休日を過ごし、気分もリフレッシュしました。

地球にも、身体にも、財布にも優しいポタリング。気楽にゆったり始めてはいかががでしょうか。

メビウス事務局 吉澤和美



↑漬物とスープがふるまわれた



↑ちびっこも参加。ママチャリもOK!!

介護事業所

デイサービス 笑々(くすくす)
平野 数美さん



デイサービス笑々は、地域の方々とのふれあいを大切にし「笑顔で生きる希望」を持てる介護をめざしています。利用者さんが毎日通いたいと思ってもらえるように、お食事やお掃除を特に大切にし、より楽しく過ごしやすい環境を整えています。常に笑顔で接すること、楽しい会話を提供することをモットーに皆さんをお迎えしています。

《営業時間ごあんない》

営業時間：8時30分～17時45分

休業日：年末年始(12/30～1/4)

お電話でお気軽にご連絡ください。

* 見学もOK! 1日無料体験も実施しています。



〒379-2314 群馬県みどり市笠懸町西鹿田 789-12
TEL/FAX: 0277-46-8285
http://www.challenge-k.co.jp/
E-Mail: kusukusu@bb.wakwak.com

《施設のアピールポイント!》

● 楽しいお食事 ●

無理なくリハビリ
ができます!

毎日バイキング形式で6種類のおかずを食べられるだけ自分でランチプレートを選んで盛り付ける。



毎日毎日が高級レストランのようです。



3時のおやつも手作りで美味しいですよ!

「笑顔のたえない」「穏やかな場所」
清潔感あふれる「アットホーム」
な憩いの場です!

《アクセスマップ》



コラム 辛口甘口こんなこと

生きていくための仕事

冬＝高倉健 という式が私の中では出来上がっている。今年もその季節がめぐってきた、と10月くらいからDVDを取り出し、『八甲田山』『冬の華』『駅 Station』『あ・うん』『鉄道員』など、お気に入り夕食を作りながら、寝る前の数分の小刻み鑑賞をスタートさせていた。

号外も配られたことからもどれほどの大きな衝撃的な知らせであったか想像がつく。

11月10日。映画俳優・高倉健が亡くなった。新聞・雑誌の「追悼」特集をこれほど熱心に読んだのは初めてだ。どなたかが書かれていたが高倉健は日本人にとって、東京タワーや富士山と同じだ。本物を見たことも、登ったこともないけれど、誰もが知っていて、いつまでも厳然と「ある」。在り続けるのだ。

私生活を切り売りせず、常に「映画俳優・高倉健」でいた健さんは、望んで俳優になったのではない。生きていくために俳優という仕事につくしかなかった。同年代の俳優・仲代達矢も確か生きていくために俳優業を始めたというエピソードを聞いたことがある。80歳過ぎてなお、健さんは『あなたへ』の次回作の準備を進めていたし、仲代氏は無名塾の代表としてこの秋も独り芝居『バリモア』に挑んだ。それはもう自分に課された運命、神からの信託のように突き進む姿が私の中の2人の姿だ。

そして、考える。

「生きていくための仕事」。言い換えれば、「食っていくための仕事」とは、自分にとって何なのだろう、と。それほど切実に、思いつめた末の職業選択は今、あまり聞かない。逆に選択肢が多すぎて、何がしかをつないでいけば生きていける世の中になっているような気がする。

今年も1年が終わろうとしている。最後になって、難題を突き付けられた2014年だ。主幹: 三上洋子

※自由なご意見お寄せください。